

日本比較薬理学・毒性学会拡大評議委員会議事録（案）

日時：平成 18 年 9 月 23 日 第 142 回 日本獣医学会学術集会

場所：山口大学農学部（山口市）

議長：那須哲之教授（山口大学）

出席者：伊藤茂男、大田利男、藤田正一、石塚真由美（北大）、北澤多喜雄（酪農大）、石井利明、室井喜景（帯広大）、津田修一（岩手大）、尾崎博、堀正敏、村田幸久（東大）、小森成一、海野年弘（岐阜大）、松尾三郎、清宮健一、中川博史、竹内正吉、中嶋秀満（大阪府大）、那須哲之、佐藤晃一（山口大）、白井明志、折戸謙介（麻布大）、清水一政、金田剛治（日獣大）、池田正浩（宮崎大）、白石光也、山脇英之（北里大、薬）、宮本篤（鹿児島大）

1. 新任の先生の紹介（山口大・那須先生より）

北里大：山脇英之先生（講師）

2. 国公立大学獣医学協議会報告（東大・尾崎先生より）

1) 獣医学教育改善に向けての外部評価のあり方中間とりまとめ（案）について

2) 学生定員数の見直しについて

3) 教員数の充実について

3. 私立大学獣医学協議会の報告

出席者がおらず報告なし

4. 実習書改訂について

若手勉強会で話し合われた、実習書改訂の基本方針が了承された。

5. 平成 19 年春期獣医学企画シンポジウムについて（東大・堀先生より）

1) 平成 19 年春の日本獣医学会学術集会は、動物衛生研究所主催で 4 月 3-5 日につくば市で開催される

2) 企画シンポジウム形式で行われる予定。若手勉強会より、企画シンポ 1「神経接着分子と脳神経機能」、企画シンポ 2「オレキシンによる睡眠・覚醒状態の制御機構」を行いたいとの提案があり了承された。

3) 大学以外の主催となるため、薬理毒性分科会の当番校は麻布大学となった

6. その他

1) 学会の開催方法について小森先生（岐阜大）より、生理・生化学分科会などで似通った内容の発表が多数あることから、学会を盛り上げる意味でも合同開催を考えてはどうかという意見が出された。

2) 尾崎先生（東大）より、シンポジウムを工夫すること等で学会活性化の努力は行っている。また、他分科会との合同開催の話はこれまでも出ているが、現実には具体化していないことから、今後の検討していくべき問題であるとの回答がなされた。